



令和2年度 NO. 10

# 駒岡小学校だより 2月号

## 地域とともにある学校

副校長 伊藤 みつみ

冬らしい寒い日が続いていますが、子どもたちは中休み、マラソン月間で体力づくりに励んでいます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

1月25日には、授業参観・懇談会が行われ、4年生は二分の一成人式、その他の学年も外国語活動や音楽、総合的な学習の時間など、様々な形で生き生きと学習に取り組んでいました。これまで駒岡小学校では、1月に「教えて！駒岡知恵袋」という地域の方とのふれ合い活動が行われていました。去年は、インフルエンザの流行で中止になりましたが、地域の方から、昔遊び、七輪、木工、手芸、盆踊りなどを教えていただいていたいました。地域の方々とのふれ合いとして、12月の「ふれ合いもちつき大会」と同様に長年親しまれてきた取り組みでした。

今年度から、地域の方をお招きして開いていた「駒岡知恵袋」としての形を見直しました。地域の方とのふれあい活動を、もっと日常的に多くの幅広い年代の方と行っていきたいという学校の願いと地域の事情から、各学年のカリキュラムの中に盛り込み、年間を通じて地域交流を進めていくことになりました。

例えば、2年生の生活科の野菜栽培の学習や3年生の社会科の昔の道具体験、4年生のまちの安全マップ作りなどに、保護者や地域の皆様にお手伝いをいただき、子ども達がインタビューをしたり一緒に活動したりすることができれば、温かなふれあいの中から多くの学びが生まれると思います。また、学校花壇のガーデニングや飼育動物の預かりボランティアなども、楽しみながら学校教育に携わっていただく機会となるかと思えます。子ども達がお手伝いをしていただく方々のお名前を覚えて、顔の見えるかかわりが生まれるといいなと思えます。そこで、保護者の方や地域の方に「学校応援ボランティア」という形で、学校へご協力をお願いしたいと思います。3月1日に配布予定のお便りをご覧ください、「子ども達のために何か役に立ちたい！」とお思いの方のご応募をお待ちしています。

「教えて！駒岡知恵袋」は、子どもたちにとって知恵を授けてもらうことができる大切な時間でした。このような貴重な時間をつくっていただいた地域の方々、町内会で参加者を募っていただいた方々に心より感謝申し上げます。そして、今後も形は変わりますが、子ども達は、人と人とのふれ合いの中から、様々な知恵を学び学習や生活の中に生かすことができると思えます。引き続きご協力をお願いいたします。

